

「麻疹《H I》」報告遅延のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度の麻疹流行に伴い、標記項目の検査試薬の原材料であるアフリカミドリザル血球の供給が不足しており、下記期日以降にお預かりする検体につきましては報告が遅延する可能性がありますので、取り急ぎご案内致します。

つきましては、本案内以降、下記の代替検査をご利用いただきますようお願い致します。

誠に突然のことであり、お客様にはご不便をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目

- [613] 麻疹《H I》

遅延対象受付日

- 平成28年9月12日（月）受付分より

※上記期日以降にお預かりする検体につきましては、報告が遅延する可能性があります。

なお、報告遅延が発生した場合は、弊社担当者より別途ご案内申し上げます。

代替検査

- [491] 麻疹-IgG《EIA》
- [492] 麻疹-IgM《EIA》

※代替検査として、上記項目をご案内させていただきます。

なお、国立感染症研究所感染症学センターから出されている『医療機関での麻疹対応ガイドライン（第六版：暫定改訂版）』では、麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法として、EIA法が推奨されています。また、赤血球凝集抑制法（HI法）は、EIA法より感度が低く、免疫の有無を検査する目的には推奨できないと記載されています。